

JAグループ宮城 災害復興ニュース (総合版)

第 4 8 号

【平成 25 年 1 月 7 日 (月) 発行】
発行：JAグループ宮城災害復興本部
編集：JA宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8207
FAX 番号：022-216-4466
E-mail：jataisaku@gmail.com

《目次》

1. TPP交渉参加阻止へ県民集会。市内をデモ行進
2. 職員派遣受け入れ 3JA が連絡会議
3. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 16 次請求
4. 秋葉賢也・谷公一両副大臣に反 TPP と復興対策など要請
5. JA 全農山形から宮城県の被災 5 JA に「啓翁桜」
6. 「七ヶ浜産大豆」復活を祝い収穫祭
7. JA 農機担当者連絡協議会と系統農機メーカー連絡協議会が義援金
8. 在札幌米国総領事が菅原会長を表敬訪問

1. TPP交渉参加阻止へ県民集会。市内をデモ行進

TPP から食と暮らし・いのちを守るネットワーク宮城は 12 月 10 日、仙台市の東京エレクトロンホール宮城で「TPP 交渉参加反対宮城県民集会」を開きました。JA グループや生協、漁協など構成団体から約 1,000 人が参加。政府が交渉参加を断念するまで、ネットワーク組織の総力をあげて徹底した運動を展開する、との集会アピールを採択しました。集会後は、市内中心部の商店街をデモ行進し、TPP の危険性を市民に広く訴えました。



2. 職員派遣受け入れ 3JA が連絡会議

東日本大震災の被災地支援で他県 JA から職員を受け入れている 3 JA と JA 全中、JA 宮城中央会は 12 月 17 日、仙台市の JA ビル宮城で連絡会議を開き、受け入れの現状と課題について話し合いました。現在、JA 南三陸は秋田県の JA 秋田ふるさとから、JA 仙台は愛媛県の JA おちいまばりから、JA みやぎ亘理は長野県の JA 上伊那から職員を受け入れており、大きな力

になっている、との報告がありました。しかし、マンパワー不足はまだまだ解消されておらず、さらなる支援が必要、との意見が出されました。

3. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第16次請求

J Aグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は12月11日、東電への第16次請求を、これまでの最高の23億891万766円とすることを決め、21日に請求しました。牧草地の除染に係る損害請求が本格化し、全体の半分以上の12億2280万1634円となりました。東電からは11月27日から12月末までに、5回で合わせて約36億円の入金がありました。12月末現在で、同協議会の請求総額は約186億6,200万円、受領総額は約120億900万円で、請求対比64.3%となっています。

4. 秋葉賢也・谷公一両副大臣に反TPPと復興対策など要請

J A宮城中央会の菅原章夫会長は1月4日、仙台市を訪れた秋葉賢也厚生労働兼復興副大臣に、震災復興対策のスピードアップと環太平洋連携協定（TPP）交渉参加を要請しました。

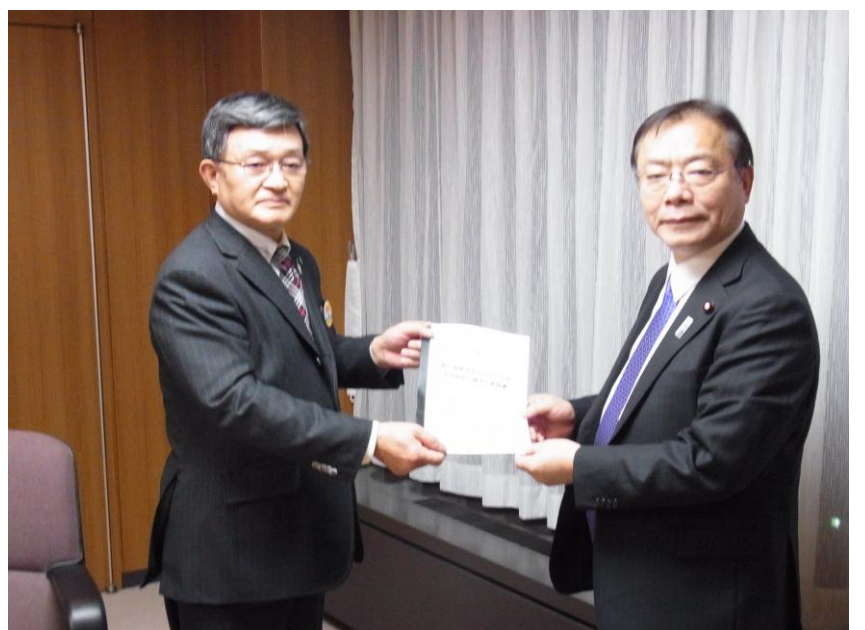
菅原会長は「地元選出の秋葉議員が復興副大臣に就任し、心強い限りだ。農業の復興も汚染稲わらの処分もまだまだの状態、農家は本当に困っている。何としてもスピードをあげてやっていただきたい」と、現場の窮状を訴えました。

これに対し秋葉副大臣は「津波、地震関係は谷公一復興副大臣と一緒に担当することになった。この半年、一年が勝負と思っているので、プレッシャーを感じながら、謙虚にしっかりがんばっていきたい」と答えました。

これに先立ち、菅原会長は12月28日に谷公一復興副大臣と仙台市で会談しました。菅原会長は、①TPP交渉参加に反対すること②被災地の復興を速やかに進めること③汚染稲わらや家畜ふん尿の処理のめどをつけること、などを要請しました。谷副大臣は「（汚染物の処理について）めどをつけないといけない」と答えました。



要請書を受け取る秋葉厚生労働兼復興副大臣



要請書を受け取る谷復興副大臣

5. JA 全農山形から宮城県の被災5JAに「啓翁桜」



桜」は真冬に満開になる桜として人気を集めています。

宮城県内の被災5JAとJA全農みやぎに12月25日、JA全農山形から山形県の名産「啓翁桜」が30本ずつ贈られました。全農山形が震災復興支援として取り組んでいる「元気・笑顔プロジェクト」の一環です。

JAビルを訪れた全農山形運営委員会の長澤豊会長は「これを飾って和んだ気持ちで新年をお迎えください」と、全農みやぎ運営委員会の菅原章夫会長にほころび始めたばかりの「啓翁桜」を贈りました。「啓翁

6. 「七ヶ浜産大豆」復活を祝い収穫祭

キリンビール・と公益社団法人日本フィランソロピー協会から支援を受けた農機具を使い、平成24年6月に2年ぶりに大豆を播種したJA仙台の七ヶ浜生産組合は12月4日、同町で「七ヶ浜産大豆」収穫祭を開きました。被害に遭った圃場5畝で刈り取りし、約6トンを収穫。この「七ヶ浜産大豆」を使った揚げ出し豆腐や釜あげ豆腐が、関係者約60人に振る舞われました。

7. JA 農機担当者連絡協議会と系統農機メーカー連絡協議会が義援金

宮城県JA農機担当連絡協議会の戸田進会長と宮城県系統農機メーカー連絡協議会の千葉敬副会長が12月7日、JA宮城中央会の菅原章夫会長を訪ね、農業復興に役立ててください、とチャリティーオークションなどの売上金をJAグループ宮城災害復興本部に贈りました。チャリティーオークションは11月に行った「JAグループ宮城担い手営農復興支援フェスタ2012in宮城」で行いました。今回はこの売上金に、TACの皆さんが販売した復興野菜の売上金を加えて義援金としました。

8. 在札幌米国総領事が菅原会長を表敬訪問

在札幌米国総領事館のジョン・リース総領事が12月11日、JA宮城中央会の菅原章夫会長を表敬訪問しました。菅原会長は、東日本大震災からの復旧・復興状況などについて説明しました。ジョン総領事は震災のお見舞いで昨年も来訪しました。

ジョン総領事によると、アメリカは日本食がブームで、寿司だけでなく、日本酒もいろんなところで提供しているとのこと、「宮城のお酒もぜひアメリカで広めたい」と、語りました。

